

横山成教
小川重喬
渡邊義雄

擬律必携

四編

甲

CZ
711
02

四共
三十本

東 京 圖 書 館

新 門 一 四 函

一 部 二 架

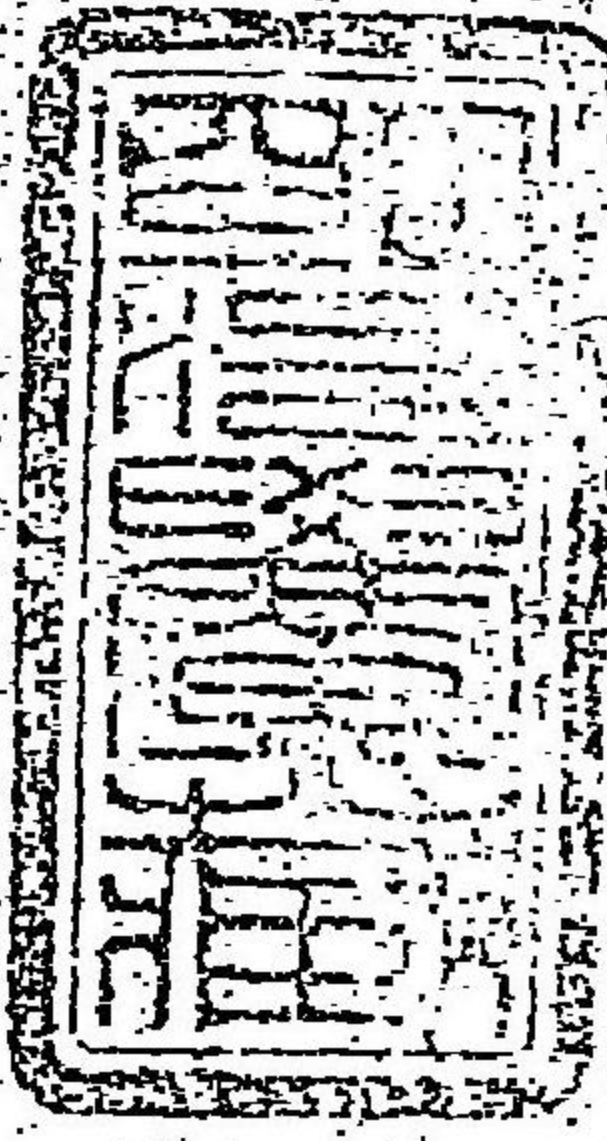
類 五 二 〇 號

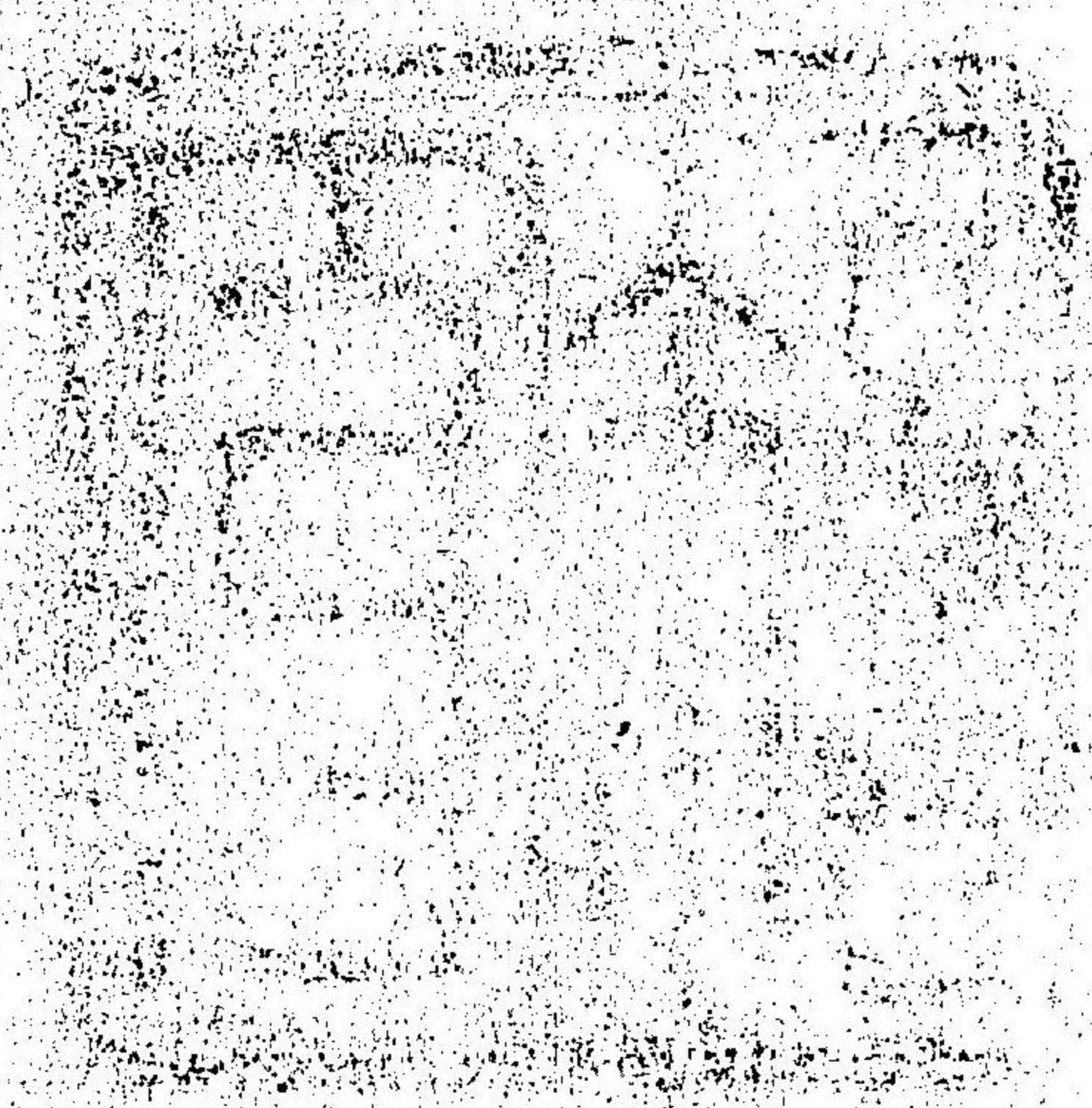
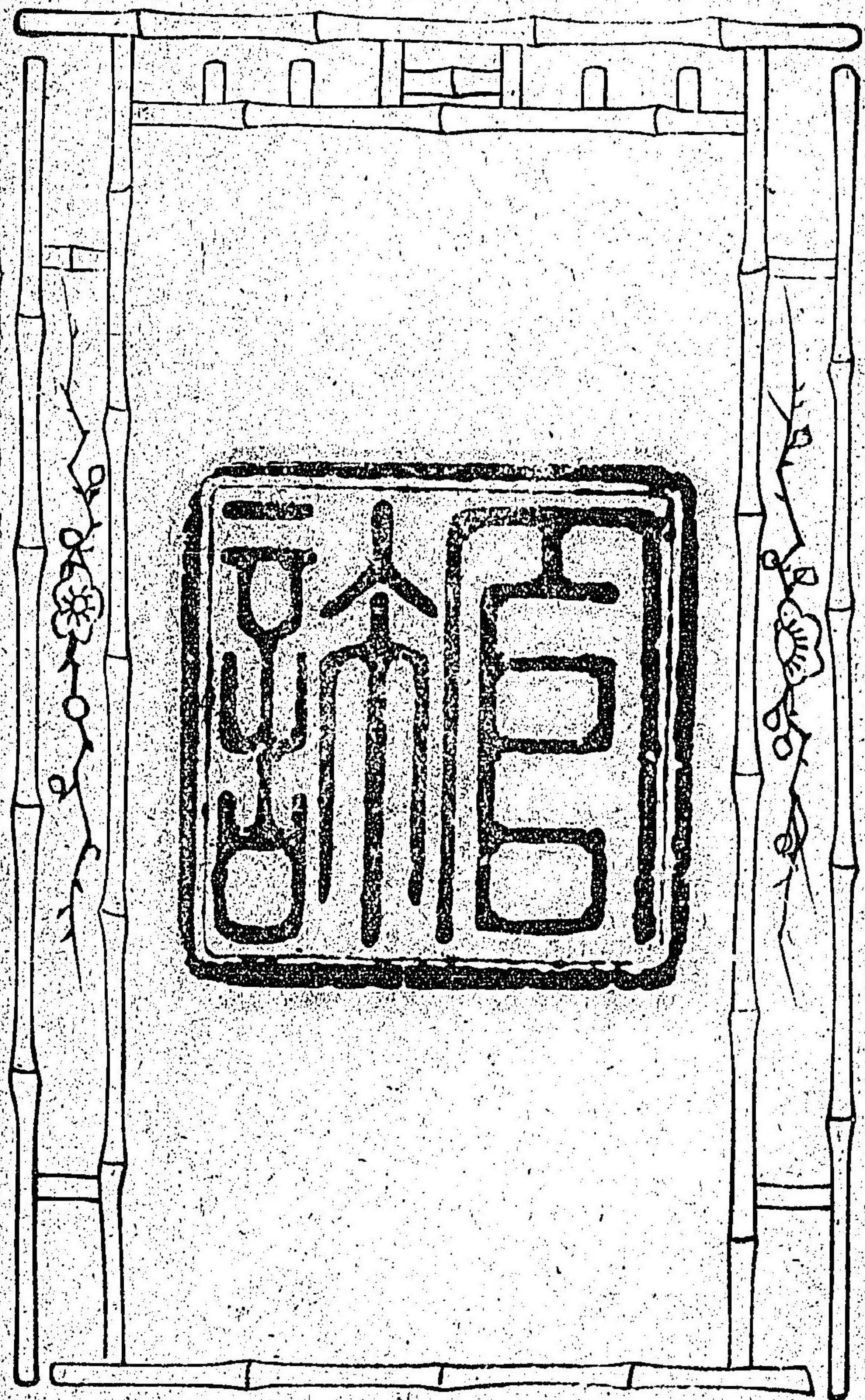
橫山成教
小川重喬
渡邊義雄
同輯

四編

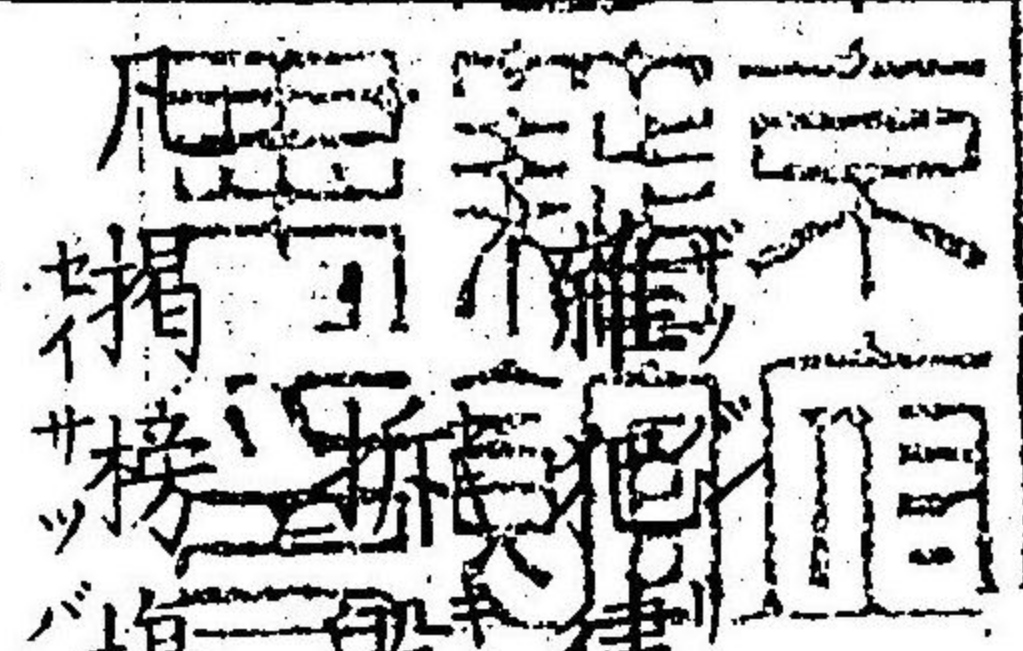
擬律必携

明治八年七月





CZ
711
02



擬律必携四編上卷

明治九年圖書寮交付

横山成教

小川重喬同輯

渡邊義雄

年
賭博場ヲ拆毀シ及ヒ
搦場ヲ毀スル者ハ徒三

販賣鴉片烟新律綱領

凡鴉片烟ヲ販賣シテ利ヲ圖ル者首ハ斬後ハ流

疑律必携四編上

二

三等

若シ人ヲ引誘シテ吸食セシムル者ハ絞後及ヒ
 情ヲ知り房屋ヲ給スル者ハ流三等引誘セラレ
 テ吸食スル者ハ徒一年
 若シ販買シテ未夕售賣セザル者首ハ流三等後
 ハ徒三年買食スル者ハ徒二年半並ニ鴉片烟ハ
 官ニ没入ス
 若シ官吏知テ舉セザル者ハ同罪罪流三等ニ止
 ル財ヲ受ル者ハ枉法ヲ以テ重ニ後テ論ス
 賭博

凡財物ヲ賭シ博戯ヲ為ス者ハ皆杖八十賭場ノ
 財物ハ官ニ入ル其賭房ヲ開張スル人ハ其列ニ
 與ラスト雖モ同罪飲食ヲ賭スル者ハ論ズル
 勿レ
 若シ産業無クシテ常ニ腰刀ヲ挾帶シ無頼ノ徒
 ヲ招結シ賭場ヲ開張シ四隣ニ横行スル者ハ皆
 流一等

堺縣伺 七年二月七日

雞ヲ鬪ハシメ或ハ碁碁ヲナスニ財物ヲ賭
 ル者並ニ賭博ヲ以テ論シ可然哉

指令

伺ノ通

岐阜縣伺 二十七年四月

世ニ偽塞ヲ用ヒ博奕ヲ假リ手術ヲ以テ人

ノ巨財ヲ圖取ル其實同騙ニ類スル者有之

尋常賭博ヲ以テ論シ候テハ懲艾ノ法難立

トモ存候ニ付贓ニ計ヘ賭博律ヨリ重キモ

ノハ重キニ後ヒ詐欺取財律ニ依リテ論シ

可申款ニ候ヘ共然ル時ハ財ヲ失フ者ノ處

分贓ニ依リ一方賭博律ニ當ル節ハ罪ヲ免

レズ詐欺取財律ニ當ル節ハ無科ニ歸シ候
テハ律法區々ニ相成可申且其財ヲ失フト
言フ者亦他ノ局騙ト同一ニハ無之候ヘハ
一般賭博ニ見做斷刑可仕候哉

指令

伺ノ通賭博律ヲ以テ論ス

賭博條例 改定律例

第二百六十九條 凡賭博三犯以上ハ懲役一年

高知縣伺 十七年二月

土佐郡水通町商渡邊岩藏儀賭博三犯ノ節

懲役一年可申付呀初度ノ罪科押隠ヨリ再
犯ヲ以テ論シ杖九十申付候ニ付一年三百
六十五日ノ内九十日ヲ除キ残り日數二百
七十五日懲役可申付哉

指令

改定律例第二百六十九條 賭博三犯懲役
一年ノ呀再犯ノ時初犯ヲ包藏スルニ依リ
杖八十三處セラレ加等十日ノ不足ヲ生シ
三犯ノ時更ニ初犯ヲ包藏スルニ依リ杖九
十二處セラレシヲ以テ本罪一年ノ内九十

日ヲ除キ剩ル二百七十五日ハ前十日ノ不
足ヲ加ヘ

懲役二百八十五日 渡邊 岩藏

第二百七十條 凡賭場現在ノ財物ハ官ニ入ル
ト雖モ其田宅等不動産ニ係ル者ハ源主ニ還
付シ官ニ入ルノ限ニ在ラス

第二百七十一條 凡博戲ニ用フル骰子骨牌ヲ
賣ル者ハ賭博者ト同罪再犯ハ一等ヲ加ヘ三
犯以上ハ懲役一年

第二百七十二條 凡賭博ノ列ニ與ラスト雖モ

母錢ヲ借レ息ヲ収ル者ハ犯人ト同罪

囑託公事新律綱領

凡法令ヲ曲ゲレテ欲シ公事ヲ囑託スル者ハ
己レノ為ニシ人ノ為ニスルヲ論セス答四十
當談ノ官吏聽從スル者ハ同罪聽從セサル者ハ
坐セス若シ事已ニ施行スル者ハ杖九十枉ル所
罪重キ者官吏ハ故出入人罪律ヲ以テ論ス若シ
他人及ヒ親屬ノ為ニ囑託シテ枉ル所罪答四十
ヨリ重キ者ハ當談官吏ノ罪ニ三等ヲ減ス自己
ノ事ヲ囑託スル者ハ坐スヘキ本罪ニ一等ヲ加

若シ法ヲ曲ケ賍ヲ受ル者ハ賍ニ計ヘ枉法ヲ以
テ論ス

失火新律綱領

凡火ヲ失シテ自己ノ宅舎ヲ燒ク者ハ答二十人
ノ宅舎ニ延燒スル者ハ答四十罪止ダ火ヲ失ス
ル人ヲ坐ス若シ太廟及ヒ宮闈内ニ於テ火ヲ失
スル者ハ流三等山陵ノ兆域内ハ後一年公解及
ヒ倉庫内ハ杖一百主守ノ人因テ財物ヲ毀欺ス
ル者ハ賍ニ計ヘ濫守自盜ヲ以テ論ス其外ニ在

リ火ヲ失シテ延焼スル者ハ各三等ヲ減ス
其宮殿及ヒ倉庫ヲ守衛シ若クハ囚ヲ掌ル者火
ノ起ルヲ見テハ所守ヲ離ル、コヲ得ス違フ者
ハ杖七十

大分縣伺 六年七月十五日

火ヲ失シテ自己ノ宅舍ヨリ人ノ厩納屋等
ニ延焼スル者其厩宅ニハ延焼セスト雖モ
人ノ宅ニ延焼スルト同ク懲役四十日ニ論
ス可キ哉
火ヲ失シテ人ノ宅舍ヲ焼ク者モ亦人ノ宅

舎ニ延焼スルヲ以テ論シ懲役四十日ニ處
ス可キ哉

指令

第一二條 伺ノ通

白川縣伺 七年五月二日

爰ニ失火人アリ兼テ一人相暮居リ一日他
出スルニ付爐中ノ火ヲ埋メ戸ヲ閉テ置候
處折節強風ニテ右ノ戸ヲ吹倒シ爐中ノ火
ヲ藁壁ニ吹付タルヨリ遂ニ一家焼失ニ及
フ石ハ等閑ヲ以テ論シ難ク情状甚々憫諒

スヘキアリト雖モ畢境強風ノ折戸打シメ
無念ノ然ラシムル所ナレハ無斟酌本律ニ
依リ可處斷哉

指令

火ノ起ルハ強風ノ然ラシムル所ト雖モ獨
居ノ者他行スルニ爐中ノ火ニ心ヲ用ルノ
疎ナルヲ免レヌ無念ト謂フヘシ失火律ヲ
以テ罪ヲ科ス

京都裁判所伺 二十八年二月

日誌第七十二号火ヲ失シ宅舎ノ屋上ニ

三燔

燒セス捨納ニテ消留候者云々開拓使ヨリ
問合セノ御返答ニ火ヲ失シ燒燬ニ至ラザ
ル者ハ無罪ト有之右ハ自己ノ宅舎ヲ燒ク
者ニ有之候所人ノ宅舎ヲ燒キ燒燬ニ至ラ
サルハ本罪ニ一等ヲ減スルカ將々亦無罪
ニテ可然哉

指令

燒燬ニ至ラザルハ懲役二十日贖ヲ聽ス

新潟縣伺 罪案七年四月五日

越後國蒲原郡赤塚村農石黒平次郎長女カ

ノ供^{キヨ}私儀本年三月廿一日夜^ナ食^シヲ^テ炊^ヒキ火
ノ取^リ締^メ惡^クシカリシヤ其夜^ヨ二時頃^ニ出^テ火^ニ及
フ然^ルニ折^リ惡^ク父平次郎^ル守^ル中^ニ甘直^ニ
祖父ノ寢^所ヲ^ニ驅^ツ戸^外へ連^レ出^セシ所^同入
神棚ヲ取^リ出^サン逆^ト私ノ引^出ルヲ聞^カス強^ク
テ屋^内へ驅^カ入^リシ所^多火^煙熾^シニ相^成遂^ニ燒^テ
死^シ候

指令

自家^ニ失^ヒ火^ノ際^際祖父^ヲ戸^外ニ連^レ出^スニ祖^父
神棚^ヲ取^リ出^サン為^メノ阻^當スルヲ肯^カセ^スシ

テ屋^内ニ馳^込入^リ遂^ニ燒^死ニ至^ルモ燒^死ハ
祖父^ノ自^ラ取^ルヲ以^テ唯^タ自家^ノ燒^燬ノ罪^ニ
ヲ責^ムノ失^ヒ火^條火^ヲ失^ヒテ自^己ノ宅^舎ヲ燒^テ
ク者^懲役^ニ二十日ノ處^婦女^{タル}ヲ以^テ例^ニ
依^リ收^贖ヲ聽^ス

收贖金五十錢

筑摩縣伺 七年四月九日

凡^ソ寺^職ノ者^火ヲ失^ヒシ其^形ヲ燒^キ或^ハ他
ノ宅^舎ヲ延^焼スル者^如何^處斷^可然^哉

指令

僧侶火ヲ失シテ寺院ヲ焼ク者自己ノ宅舎
ヲ焼クニ一等ヲ加フ他ノ宅舎ヲ延焼スル
者又一等ヲ加フ

失火條例 改定律例

第二百七十三條 凡太廟及ヒ山陵内ニ於テ火

ヲ失スル者ハ律ニ依リ罪ヲ科スルノ外官幣
國幣大社ハ山陵ト同シク論シ中社ハ懲役百
日小社ハ懲役九十日府縣社ハ懲役七十日郷
社ハ懲役六十日延焼スル者ハ各本罪ニ三等
ヲ減ス減シテ人ノ宅舎ヲ延焼スルヨリ輕ク

若クハ等キハ並ニ一等ヲ加フ

京都裁判所伺 七年二月五日

改定律例第二百七十三條前畧郷社ハ懲役
六十日延焼スル者云々トアルニ依リ其村
社ヲ焼ク者モ仍ホ郷社ヲ焼クヲ以テ論ス
可キ哉將タ村社ハ官社ニ列セサルヲ以テ
人ノ宅舎ヲ焼クヲ以テ論ス可キ哉

指令

郷社ヲ焼クト同ク論ス

筑摩縣伺 七年三月四日

失火條例中官幣國幣大社以下府縣郷社ニ
至ル迄凡火ヲ失シテ之ヲ焼キシ者ハ懲役
若干日ト其例相見候ハ其特リ村社ノ例無
之若シ之ヲ焼キ之ヲ延焼スル者罪如何
其官幣國幣大社以下府縣郷村社中各撰社
末社ト唱フル神祠アリ之ヲ焼キ之ヲ延焼
スル者ハ罪如何右ハ御省日誌後第二号鳥
取縣ヨリ村社失火延焼トモ人民宅舎ト同
ク論シ可然哉云々相伺候處兩條共人ノ宅
舎ト同ク論ストノ御指令ニ候ハ人ノ宅

ハ延焼スルモノト同ク懲役四十日相當ニ
可有之候ハ其郷社以上ハ延焼スル者本罪
減等ノ例有之村社撰末社等ハ失火延焼ノ
差等無之權衡如何可有之哉

指令

第一條 郷社ノ例ニ照シテ論スヘシ
第二條 官幣大社ノ境内ニ在ル撰社末社
ニ失火スル者ハ小社ニ準シテ一等ヲ減シ
官幣國幣中小社ノ撰社末社ハ府縣社ニ準
シテ一等ヲ減ス其神器^{カミモノ}包藏^{カクレ}スル倉庫^{クラ}ヲ焼

ク者亦同シ延焼スル者ハ各三等ヲ減ス減
シテ人ノ宅舎ヲ延焼スルヨリ輕キ者ハ並
ニ一等ヲ加フ府縣鄉村社ノ撰末社ハ人民
宅舎ト同ク論ス

第二百七十四條 凡^稅居人火ヲ失シテ其家ヲ
焼ク者ハ自己宅舎ヲ焼クニ一等ヲ加フ

筑摩縣伺 二十七年三月十四日

凡^{官私}不論一時或ハ平常其主ニアラス
シテ空屋ヲ^カ監守シ火ヲ失スル者ハ^{處分}上
如何ニ相心得可然哉又ハ官私稅居人ニ一

時雇ハレ其空屋ヲ監守シ火ヲ失スル者仍
ホ稅居人ト看做シ處分可然哉

指令

官私ノ空屋トハ^公厩^倉及ヒ宅舎ノ類ニ
テ其^注守^レ或ハ^{主人}他^行等ノ^節代^守スル者
カ^果シテ然ラハ代守スル者公厩倉庫ハ本
律ニ依リ宅舎ニ係ルハ自己ノ宅舎ヲ焼ク
ニ一等ヲ加フ其稅居人ニ雇ハレテ火ヲ失
スル者ハ例第二百七十四條ニ依ルヘシ
改定律例第二百七十五條改心 明治六年八月十二日大

政官二百九十九号御布告

第二百七十五條 凡火ヲ失シテ人ヲ燒死ニ致ス者ハ死屍ノ多寡ヲ論セス一等ヲ加フ其同居一等親ノ尊長ヲ燒死ニ致ス者ハ懲役百日二等親以下ノ尊長ハ各一等ヲ總減シ卑幼ハ各等親ニ照シ尊長ニ三等ヲ減ス減シテ罪致人ヲ燒死律ヨリ輕キ者ハ減セス其各居ニ係ル者ハ等親ノ尊卑ヲ論セス並ニ致人ヲ燒死ト罪同

京都裁判所 同 十七年一月十八日

司法省日誌第三十号印播裁判所同第三條
 僱人火ヲ失シテ家長ノ家ヲ燒ク者云々御
 指令僱人火ヲ失シテ家長ノ宅舎ヲ燒ク者
 ハ自己ノ宅舎ヲ燒ク者ヲ以テ論ス雇人別
 居ニ係ル者ハ自己ノ宅舎ヲ燒クニ一等ヲ
 加フト之アリ候處其同居及ヒ別居ノ雇人
 火ヲ失シテ家長ヲ燒死ニ致ス者ハ改定律
 例第二百七十五條ニ照シ各一等ヲ加ヘ處
 斷可致哉將々其燒死人雇主ニ係ルヲ以テ
 同居別居各加等ノ區別モ可有之哉

指令

同居別居ノ分チナク改定律例第二百七十
五條ニ照シテ論シ贖ヲ聽ス

滋賀縣伺

七年三月
二十七日

近江國高島郡岡村
農亡彦右衛門二女

足立 ナツ

右ハ罪夥畧ノ通火ヲ失シ家長ノ女ヲ焼死
ニ致ス律ニ正條無レ之先般妻并雇人火ヲ失
シ同居候夫及ヒ家長ヲ焼死ニ致スハ加等
無レ之候哉ト相伺候處知テ供ヲ以テ伺フ可シ
ト御指令アリ因テ此段相伺候也

指令

火ヲ失シテ家長ノ女ヲ焼死ニ致ス者 改
定律例第二百七十五條 火ヲ失シテ人ヲ
焼死ニ致ス者ハ一等ヲ加フト云ヲ以テ論
シ

收贖金七十五錢

足立 ナツ

兵庫裁判所伺

七年
四月

改定律例第二百七十五條ニ失火レテ人ヲ
焼死ニ致ス云々一等ヲ加フト有レ之候テ假
令ハ消防人足及ヒ官使又ハ平民等ニテモ

加勢ノ夕メ其場所ニ到リ消防中焼死ニ至ル者有之時其本犯ハ無論加等候テ可然哉但失火場ヘ外ヨリ来リ救防スル者ハ焼死スルモ加等セス自家ニ在テ逃レ得ス焼死スル者アレハ加等スル等ノ區別有之候哉

改定律例第二百七十五條ノ等親ヲ焼死ニ致スト云ハ失火者自ラ其等親ヲ焼死セシムルヲ云ニ似タリ譬ヘハ甲ノ家失火シ乙ノ家ニ延焼スル片乙其祖父父母等尊屬

ノ親ヲ焼死ニ致スモ無罪ニ候哉將夕其奉養ノ欠ルヲ責メ仍ホ二百七十五條ニ依リ處斷スヘキ哉

指令

第一條 消防人足及官吏等其場ニ来リ誤テ焼死スル者アリ共本犯ハ加等ノ限ニ非ス但書自家ニ在テ逃レ得ス焼死スル者ノ為多第百七十五條ヲ設ク
第二條 等親ヲ焼死ニ致ス條亦止夕失火本犯ノ為ニ設ク乙等親ヲ焼死スル如キハ

此限ニアラス其情ニ依テ別論スヘシ

第二百七十六條 凡火ヲ失シテ人ノ山林柴草
及ヒ空間場屋若クハ田場積聚ノ物ヲ延焼ス
ル者ハ官私ヲ分タス人ノ宅舎ニ延焼スルニ
一等ヲ減ス

新潟縣伺 六年十月十二日

村社ノ境内ニ於テ木葉枯枝ヲ燃シ暖ヲ取
リ誤テ火ヲ失シ境内ノ樹木ヲ焼ク者如何
處斷スヘキ哉

指令

改定律例第二百七十六條ニ照シ處斷スヘシ

第二百七十七條 凡盜犯火ヲ用ヒテ門關戸
ヲ燒燬シ及ヒ燬時ヲ持レ期セシテ失火ニ
致ス者ハ懲役三年若シ盜罪重キ者ハ重キニ
從テ論ス

放火 新律綱領

凡火ヲ放テ致サラニ公廨倉庫及ヒ民舎ヲ燒ク
者ハ皆斬未タ燒燬ニ至ラリル者ハ流三等
放火條例 改定律例

第二百七十條 凡火ヲ放テ人ノ空間^{クワ}房屋^{バウ}及
ヒ田場^{テンバウ}積聚^{キキ}ノ物ヲ燒ク者ハ懲役七年未^{キヤ}夕^{キヤ}燒
燬^キニ至^キラサル者ハ懲役三年

第二百七十九條 凡火ヲ放テ^キ自己^{ジコ}ノ房^{バウ}
屋^{ウチ}ヲ燒ク者ハ懲役九十日未^キ夕^キ燒燬^キニ至^キラサ
ル者ハ一等ヲ減ス若シ^キ期^キセスシテ^キ公^{コウ}解^ゲ倉^{クラ}庫^コ
及ヒ民舍^{ミンシャ}ヲ延燒^{エンキョウ}スル者ハ懲役二年半因^{コト}テ財^{サイ}
ヲ盗ム者ハ懲役終身

第二百八十條 凡火ヲ放テ人ノ空間^{クワ}房屋^{バウ}ヲ燒
キ期^キセスシテ人ノ宅舍^{タクシャ}ニ延燒^{エンキョウ}スル者ハ懲役

十年

第二百八十一條 凡火ヲ放テ人ノ宅舍^{タクシャ}ヲ燒キ
未^キ夕^キ燒燬^キニ至^キラサル者律ニ照ニ懲役十年ニ
處スル外若シ^キ雇^{コト}人^ニ等家長^{トウケウザウ}ノ^キ積^キ聚^キニ^キ苛^カ迫^{トク}シ一
時^{トキ}脱身^{ダツシン}ヲ圖^スリ^キ纒^キニ^キ火^カヲ放^ナチ未^キ夕^キ燒燬^キニ至^キラ
サル者ハ情^{シヨウ}ヲ量^リテ三等ヲ減シ懲役三年

費用受寄財産新律綱領

凡他人ヨリ財物^{サイブツ}畜産^{チクサン}ノ^キ寄^キ託^{トク}ヲ受^ケケ^キ概^{カク}ク^キ費用^{ヒヨウ}ス
ル者ハ坐^ザ賍^{ダツ}ヲ以^テ論^シ一等ヲ減ス罪^{ツミ}徒^ト二年半
ニ止^ムル^キ死^シ扶^ホト^キ詐^サ言^{ゲン}スル者ハ竊^{セツ}盜^{トウ}ニ二等ヲ減シ

罪後三年ニ止ル並ニ物ヲ追シテ主ニ還ス其水
火盜賊ニ費失セラレ及ヒ畜産病死スル者ハ論
スルヲ勿レ

筑摩縣伺 六年十一月六日

同縣士族今村麻須美山田多宮桃井保之上
原真名井山田功等罪案之ノ通り諏訪下社
奉仕五官祝ト唱後前何事モ重立取扱来候
處六七箇年以還社中舞家其他類敗相成候
折柄修覆ノ為先ヨリ社頭貯蓄ノ金ヲ以
テ買入置候山林田畑其他所々ヨリ寄進ノ

品等賣拂社費ニ仕向ケ可申苦決定致スト
雖モ社中一統ノ公論ヲ不經右等ノ者共限
ニテ取計追々金策モ相整候處戊辰十一月
以還復飾神職ノ者ト座席爭論相發シ弥以
諸入費相嵩ミ他借等不ヨリ名ヲ社費ニ
候リ社頭ノ物品等賣却自費ニ遣拂候次第
ニテ前條ノ運ヒ擲不都合至極ノ儀ニ候へ
共全ク舊諸藩封土私田中減入ヲ以テ社費ニ
支給致シ候ト同一轍ニシテ事情原諒ス可
キ者ニ有レ之辨ヲ以テ罪ヲ擬シ難ク依テ雜

犯律不應為重キニ問禁錮七十日宛可及處
今哉

指令

奉仕ノ社へ漏スル所ノ山林及ヒ寄附ノ物
品等己レ管守スル所ノモノヲ擅ニ賣却シ
私費ニ充ツ其狀情ヲ酌量シ費用受寄財産
條ニ比照シテ論シ一等赦後ノ首贓二百圓
餘坐贓ニ一等ヲ減シ懲役百日閏刑條ニ依
リ

禁錮百日 贓金二百五十七圓餘
今井麻須美

一等赦前後ノ從贓へ併スレハ罪輕キ
ニ依リ一ノ首贓ヲ以テ料ス未夕接受
セサル贓金十五圓及ヒ社費ニ充ツル
ハ餘棄ス

以下畧

滋賀縣伺 六年十二月廿四日

費用受寄財産條他人ヨリ財物畜産ノ寄託
ヲ受ケ輒ク費用スル者云々トアリ又改定
律例客塵倉戸云々其寄托スル所ノ財物ヲ
盗ムハ云々トアリ右兩條何レモ人ノ寄託

スル所ノ物ナレニ一ハ費用トモ云ヒ一ハ
盗ムト云フ費用ト盗ムトハ如何ノ區別ニ
候哉

受寄ノ財産ヲ費用シ償還スルヲ能ハサル
者ト雖モ死失ト詐言スルニ非レハ仍ホ坐
贓ニ一等ヲ減シ費用スル所ノ財産ハ身代
限リ追徴シ本注ニ給シ可然哉 但買取者
アレハ直チニ追徴シ其價ハ本犯ヨリ償ハ
シメ可然哉

指令

第一條 費用ト盗ムノ區別ハ固ヨリ多辨
ヲ待タス自ラ判然而シテ均シク寄託ノ物
ニ依リ罪ニ異同アリ客塵倉庫等ノ如キ貨
銀ヲ取り人ノ財物ヲ預ルナレハ只管大切
ニ取扱フ可キ職業ノ所却テ其人ヲ贖シ窃
取シテ償還ノ念ナシ費用ノ如キハ兼テ知
リ人ヨリ預ル財物ヲ一時融通等ノ為遣ヒ
用ユル者ハ固ヨリ其罪ノ輕重自ラ懸殊セ
リ能ク其情實ヲ酌量シテ各律ニ依ルヘシ
第二條 費用シテ死失ト詐言セサル者ハ

坐^ガ賍^{ガク}ニ一等ヲ減シ資^レ力^カヲ^ル際^リ追^テ徴^シテ
本^注ニ給^スヘシ但書^コ公^コ商^コ公^コ賈^ニ由^ラサ
ル者^ハ伺^ノ通^公商^公賈^ニ由^ル者^ハ本^犯ヨ
リ其^價ヲ^償ハサレハ直^ニ追^徴スル^ヲ得
ス

得^遺失^物新^律綱^領

凡^遺失^ノ物^ヲ得^レハ必^ス官^ニ送^ルヘシ官^物ハ
全^ク官^ニ入^レ私^物ハ一^半ヲ其^主ニ給^シ一^半ヲ
得^ル人^ニ給^ス如^シ三十^日内^ニ其^主ナケレハ全^ク
給^ス若^シ官^ニ送^ラサル者^官物^ハ坐^賍ヲ以^テ

論^シ物^ヲ追^テ官^ニ還^ス私^物ハ一^等ヲ減^シ主
アル^ハ物^ヲ追^テ主^ニ給^シ主^ナキ^ハ官^ニ入^ル
若^シ官^私地^内ニ於^テ埋^藏ノ物^ヲ掘^得ル者^ハ並^ニ
二^官ニ送^リ地^主ト^沖分^セシム^隠シテ送^ラサル
者^ハ主^ニ分^ツ可^キノ數^ヲ計^ハ坐^賍ヲ以^テ論^シ
一^等ヲ減^ス仍^ホ地^主ト^中分^セシム

山梨縣伺 十七年三月十四日

盜^賊逃^亡ノ際^途中^へ取^落品^又ハ偽^名ヲ唱^へ
へ旅^籠屋^或ハ茶^店等^へ立^寄休^息又^ハ止^宿
致^シ候^節惡^事發^露ス^ヘキ^ヲ悟^リ及^逃走^候

賊捨置品等ハ賊ノ蹤跡及ヒ尋註ノ有無辨
索ノ上三十日内ニ本主不相知候ハ、遺失
物ヲ以テ論シ拾主又ハ宿主等へ給シ可然
哉

湯屋ニ於テ諸人浴場へ脱置候衣類紛失致
シ候節同呀ニ殘リ品有之賊品ト見込候分
モ犯人不相知本主無之片ハ右同断衣類紛
失セシ者へ給シ可然哉

指令

第一條 得遺失物律ニ依テ處分ス可シ

第二條 遺失物ヲ以テ論シ之ヲ浴店ニ給
スヘシ

得遺失物條例 改定律例

第二百八十二條 凡水中沈没ノ物ヲ得レハ遺

失物ヲ得ルヲ以テ論ス

第二百八十三條 凡遺失物ヲ得ルニ物品盜贓

ニ係ルト雖モ私物ナレハ一半ヲ其主ニ給シ

一半ヲ得ル人ニ給ス

東京裁判所同十七年五月

自己及ヒ他ノ所有ヲ分タス其邸宅内ニ於

テ遺失物ヲ得官ニ送ル者物品盜贓ニ係ル
 ト否ヲ問ハス主アルハ全ク其主ニ給シ三
 十日内ニ主ナケレハ得ル者ニ給スヘキ儀
 ニ候哉
 邸宅内ト称スルハ垣牆内亦ハ邸ニ接續ス
 ル林圃ノ類ヲ云フ乎
 自己ノ所有地ト雖モ垣牆外ノ田畑或ハ宅
 前等ニテ遺失物ヲ得ルハ物品盜贓ニ係ル
 ト雖モ改定律例第二百八十三條ニ依リ處
 置スヘキ哉

指令

第一條 律例第二百八十三條ニ依リ處分
 スヘシ

第二條 垣牆内ヲ邸内ト云フ林圃ハ垣牆
 内外ヲ以テ區分ス

第三條 伺ノ通

第二百八十四條 凡官吏遷率遺失物ヲ得レハ
 所部内外ヲ問ハス主アルハ全ク其主ニ還ス
 如シ三十日内ニ其主ナケレハ得ル者ニ給ス

東京裁判所 七年五月十七日

村町吏或ハ地守其他者守人等其管守スル
所ニテ遺失物ヲ得ル者ハ改定律例第二百
八十四條ニ照シ處分スヘキ哉

指令

區長戸長ハ伺ノ通其他ハ凡人ト同ク處分
スヘシ

京都府伺 七年四月 十三日

改定律例得遺失物條中第二百八十四條凡
官吏選率遺失物ヲ得レハ所管内外ヲ問ハ
ス主アルハ全ク其主ニ還スト有之然ルニ

教部省教導職大教正以下訓導試補ニ至ル
迄都テ右官吏ト見做シ遺失物ヲ得タル節
ハ前條ニ照準シ致處分候テ可然候哉番人
ハ民費ノ者ニ付平人ト同様ニテ宜候哉
選ノ節拾ヒ得候トキハ如何可取計哉

指令

教導職大教正以下云々伺ノ通番人ハ官費
民費ノ區別ナシ又公私ノ歩行ヲ論セス遺
失物ヲ得レハ選率ト同シク處分ス

第二百八十五條 凡一切應禁ノ物ヲ得レハ遺

失及ヒ埋藏若クハ沈没ヲ分タス一少體ニ官ニ
没入ストリスダ

第二百八十六條 凡人ノ邸宅内ニ於テ遺失物
ヲ竊取スル者ハ竊盜ニ準シテ論ス

違令 新律綱領

凡矜ニ違フニ重キ者ハ笞四十輕キ者ハ一等ヲ
減ス

新潟縣伺

六年十月九日

渡部 勝平

右ハ別紙罪案

越後國三島郡與板町 塚ヲ發掘シテ屍ヲ

殘毀スル者ニ似タリト雖モ其情ノ出ル所
真宗火葬ノ舊習ニ拘泥スル者ニテ素ヨリ
惡意アルニ非ス依テ火葬禁止ノ御布告ニ
違フ者ニ論シ違令重ニ懲シ自首スルモ減
等セサル哉

指令

己ニ埋葬スル父ノ屍ヲ掘發シ更ニ火葬ニ
行フト雖モ舊習ニ泥ムノ癡情ニ出テ別意
アルニ非ルヲ以テ 雜犯律 違令ノ重ニ
問ヒ捕ヲ聞テ自首スル者ニ廿一等ヲ減シ

懲役三十日贖ヲ聽ス

贖罪金二圓二十五錢 渡部 勝平

枋木裁判所 伺 六年十月廿八日

縣廳ヨリ往來道橋修繕スヘキノ布令アル

ニ村用掛リノ所存ヲ以テ伍長其他ヘ差圖

致シ官林ヲ無願ニテ伐木シ修繕ノ用ニ給

スルノ後仍ホ餘ス所ノ木材ヲ宰領伍長ノ

所存ニテ隣村其他ノ者ヘ賣却シ代金ハ修

繕中食料諸雜費ニ遣ヒ拂フ者右ハ毀棄器

物稼穡條ニ依リ其贓ハ主廳ヘ賠償セシメ

候哉或ハ盜甲野穀麥條ニ依リ窃盜ニ準レ
處斷ス可キ哉

指令

違令重ニ問ヒ贖ヲ聽ス

違令條例 改定律例

第二百八十七條 凡制ニ違フ者ハ懲役百日輕

キ者ハ一等ヲ減ス

青森縣伺 六年十月

當縣大属増田 一

同 中属松山 充善

右罪案之ノ通ニ付一儀名例律斷罪無正條
條中情罪重キ者違制ニ問擬ストアルニヨ
リ重キヲ以テ論シ充善儀其情輕キニ付不
應為重キヲ以テ論シ兩名共官吏私罪贖罪
例ニ照シ可然哉又ハ不應為輕重ニ問ヒ一
ハ重キニ充善ハ輕キヲ以テ論シ贖ヲ聽シ
可然哉

指令

縣廳ノ官吏ヲ黜職スル自己曾テ陳告スル
所ノ意旨ニ違フノ不平心ヨリ他人ヲ煽動

レテ已ニ受ルノ辞令ヲ返上セシメ共ニ當
職ヲ辞シテ本廳ノ事務ヲ障礙シ之ヲ要制
セシムルヲ欲シ巡廻ノ事務ヲ抛却シテ擅ニ
歸廳シ疾病ト詐稱シテ出仕セズ判へ自己
ニ關セサル官吏ヲ併セテ歸廳セシメ故サ
ラニ公務ヲ辨理セシメサル 雜犯律條例
制ニ違フ者ノ重キニ擬シ懲役百日判任
私罪贖例ニ依リ

贖罪金二十圓

增田 一

自己平生ノ官給下等ナル不平心ヨリ他人

撰録心抄

ノ煽動ニ授ヒ已ニ受ルノ辞令ヲ返上シ共
ニ以下出仕セス逆同上竊ニ慰優ノ再命ア
ラシトテ冀望スル 同上ノ後ヲ以テ論シ
一等ヲ減シ懲役九十日判任私罪贖例ニ依
リ

贖罪金十八圓

松山 充善

水澤縣 伺 罪案七年三月
節録十四日

陸前國栗原郡蒔敷村農千葉宅三郎供 自
令儀兼テ天主敎信向ノ者ニ候處其敎ノ中
ニ載セサル神佛ハ盡ク尊崇ニ及ハサル儀

ト存シ神棚ニ置キ奉リシ幾個ノ伊勢大神
宮ノ御玉串ヲ一束ニ纏メ屋敷ノ裏ニ投棄
テ次ニ祖先ヨリ雙親ノ位牌迄墓所ニ捨去
リ候因テ此御吟味入牢中團扇ノ骨ヲ嚙ミ
筆ヲ製シ天主教ニハ手ヲ加フヘカラス故
ニ外ノ罪ヲ以テ裁ヲ刑ス下及ペン白紙金
十架ノ四品ヲ入レントテ認メ酒井篤礼ヘ
通信スルトテ囚獄方下使佐藤久太郎ヘ依
托ス追テ謝金可遣ノ約ヲナシ右書状届ケ
貫ヒ候迄ニテ答報ハ之レ無ク候

疑世公案

廿七

指令

伊勢大神宮ノ御玉串及ヒ祖先父母ノ位牌
ヲ投捨スル 雜犯律 違制ノ重ニ問擬シ
懲役百日 千葉宅三郎

監獄中他ニ書信ヲ通スルノ罪ハ未決
中ニ廿二罪俱發ヲ以テ論シ輕ニ依リ
論セス

第二百八十八條 凡式ニ違フ者ハ懲役二十日
輕キ者ハ一等ヲ減ス

埼玉縣伺 十六年二月十五日

各府縣ヨリ宿村送ヲ以差立候者御規則通
差添人込道宿村ヨリ差出候へ共已ニ行刑
ヲ經テ無罪ナル者ニハ繩鎖ヲ施シ護衛可
致儀ニモ無之候へハ差添人ノ稽緩ニ無之
トモ若シ本人逃亡致シ候へハ差添人ノ處
置如何可仕哉素ヨリ護送ノ名義ニモ無之
儀ニ付無罪ニ候哉萬一罪科有之儀ニ候へ
ハ前條宿村送ノ者假令處刑濟無罪ノ者夕
リ氏路中繩鎖ヲ施シ止宿ノ節ハ入圍夫々
締リ相附逃亡ノ憂無之様取計可然哉

指令

罪囚護送ノ如ク嚴鎖ス可キニ非スト雖モ
其逃亡ノ憂ナキヲ要スルハ適宜ニ處ス可
シ但本人逃亡スル片ハ差添人違式輕ニ
問ヒ贖ヲ聽ス

京都裁判所伺 六年十月十四日

賭博申合既ニ行ハント席ニ坐スル折柄番
人ニ見咎メラレ逃去ントシテ其場ニ骨牌
取落ス者アリ賭博遂得サルヲ以テ不應為
輕ニ擬シ實決ス可キ哉

指令

違式輕ニ問ヒ贖罪ヲ聽ス

滋賀縣伺 六年十月廿三日

今茲ニ甲乙丙丁ノ四人アリ兼テ御布告ノ
旨ニ違ヒ傳染流行病ノ斃牛ヲ甲ヨリ乙ノ
牙保ヲ以テ竊ニ丙ニ代金四圓ニ賣渡シ乙
ハ金二十五錢世話料トシテ甲ヨリ差遣シ
丙買取所ノ牛肉骨ハ肥ニシ皮ハ又丁ニ斃
牛タルノ情ヲ押隠シ代金一圓五十錢ニ賣
渡シ其皮ハ丁ノ所ニ現在ス右甲丙ハ違令

ノ輕ニ擬シ乙ハ後トナシテ一等ヲ減シ丁
ハ情ヲ知ラサルヲ以テ無罪ト論シ可然哉
而テ其皮ハ犯禁ノ物タルヲ以テ丁ヨリ直
ニ追徴官ニ没シ甲乙丙ノ得ル所ノ金モ亦
應禁ノ物ヲ販賣シ得ル者ナレハ各官没シ
更ニ丙ヨリ丁ニ牛皮代價ヲ償ハシメ可然
哉

但己ニ費用スレハ追徴スルニ及ハス候
哉

當管内湖中ニ養ヲ立テ歟リト称シ漁スル

者アリ後殊水害ヲ醸スヲ以テ願者アリト
雖モ狼ニ之ヲ免サス若シ免許ヲ與レハ相
當ノ税ヲ收ル成規ニ候處歟モスレハ
ノ漁師等免許ヲ受ケス竊ニ之ヲ設ル者ア
リ右ハ情ヲ量リ違式ノ輕重ニ問シ仍ホ其
責竹及ヒ得ル所ノ魚代金モ亦官没シテ可
然哉
但シ己ニ費用スル者ハ追徴スルニ及ハ
ス候哉

指令

第一條 甲ヨリ販賣代金四圓及ヒ乙ヨリ
世話料二十五錢ヲ遊シ一圓五十錢ヲ丁ニ
給シ銀金ト皮ヲ官没シ情ヲ知テ縛續カ保
ヲナセシ者ハ違式ノ輕重ニ問ヒ贖ヲ聽ス
但書伺ノ通

第二條 違式輕ニ問ヒ贖ヲ聽ス仍ホ責竹
ハ官没ス 但書伺ノ通

山梨裁判所 同 六年十月廿四日
博戲ヲ為サント骨牌並ニ金錢等マテ取出
シ既ニ手合ニ及ハントスルノ際捕縛ニ就

キ候者ハ賭博ヲ為ス者ト同罪ニ候哉
改定律例二百七十一條ニ博戲ニ用ユル骨
子骨牌ヲ賣ル者賭博者ト同罪ト有之金錢
ヲ賭ケ博戲ヲ為シタメ骨牌等所持スル者
モ同罪ニ候哉

指令

第一二條 違式重懲役二十日贖ヲ聽ス
愛知縣 同 七年五月二日
賭博ヲ客店ニナス者アリ店主其博徒タル
ヲ知ラス止宿セシメテ後始テ之ヲ知ルト

雖モ情ニ溺レテ敢テ之ヲ制シセサルノミ
固ヨリ其列ニ與ルニ非ス又為メニ金ヲ受
ケサルハ其罪不應為ノ輕ニ問ヒ贖ヲ聽シ
テ可ナラン乎將タ違令輕ヲ以テ之ヲ論ス
ルヤ

指令

違式輕ニ問ヒ贖ヲ聽ス

愛知縣伺 廿七日

復籍人源籍へ送ノ中路誤テ遁逃セシム
ル押解人處分ノ儀相伺候處違式輕ニ擬シ

懲役十日贖ヲ聽スト明治六年八月中御指
令有之然ルニ添書并旅費牒等押解人ノ不
束ヲ以テ本人ニ所持為致候俟逃走セシメ
或ハ本人ニ異條無之ト雖モ押解人誤テ前
顯ノ書類ヲ遺失スルカ如キ其遺失スルノ
添書ハ既ニ縣令ノ印アリ候テ之ヲ職制律
棄毀官文書ノ條ニ照シ縣ノ文書ヲ以テ論
スル時ハ復籍人ヲ逃走セシムルノ律ト其
權衡平カナラサルニ似タリ故ニ其遺失ノ
書類ハ餘ノ文書ヲ以テ論シ懲役二十日贖

ヲ聽シ其本人ニ訛レテ所持ノ俵逃走セシ
ムルモ自ラ遺失スルト同シク其罪ヲ科シ
候テ可然哉

指令

復籍人ニ添書旅費牒等ヲ所持セシメ逃走
スルヲ覺ラサル者違式重ニ問ヒ自ラ遺失
スル者ハ縣ノ文書ヲ遺失スルヲ以テ論ス
可シ

不應為 新律細領

凡律令ニ正條ナシト雖モ情理ニ於テ為スヲ得

ヘカラサルノ事ヲ為ス者ハ咎三十事理重キ者
ハ杖七十

東京裁判所 同 罪案 六年 九月

東京府士族篠崎正志曰私儀工林豊吉ハ貸
金アリ嚴重催促セシ所同人娘鈴ヲ妾奉公
ニ入レ給金ヲ以テ返済スト申ニ付篤ト勤
考スルニ彼ハ多借ノ身持リ我ニ耳返辨ニ
六ク數ト察シ本貸金三十五圓へ四十圓増
金シ壬申十一月鈴ヲ引取候尤御謝禁ヲ懼
レ表ハ私妾ノ名義一年七十五圓ノ給金ニ

證文ヲ認サセ私方ヨリ他人へ妾ニ遣ハシ
其給料ヲ以テ貸金ヲ償ハセント一月金七
圓又ハ五六圓宛ニテ諸所へ妾ニ遣ハシ或
ハ自宅へ容ヲ延カセ候

指令

貸金ノ方ニ人ノ女ヲ引取り豫メ罪ヲ逃レ
シテヲ謀テ偽證書ヲ製シ又妾ニ出シテ其
月給ヲ収メ或ハ金ヲ取テ容ヲ自宅ニ迎ヘ
シムルヲ以テ 雜犯律 不應為重ニ擬シ
破庶耻甚ヲ以テ論シ

除族

篠崎 正志

大坂裁判所 同 十六年十月十五日

別紙罪案ノ通坪内長蔵固ヨリ有心故犯
ノ者ニ無之候へ共全ク其不注意ヨリ斯變
害ヲ生シ多命ヲ斃スニ立至リ候へハ疎失
ノ罪免カレ難ク因テ本犯ハ不應為重ニ問
ヒ黒川善右衛門ハ一等ヲ減シ各贖罪ヲ聽
シ仍ホ長蔵ニ著シ雇人ヲ除クノ外近傍ニ
在テ死傷スル者ハ醫藥埋葬ノ資料ヲ追給
シ及ヒ破損ノ船隻家屋賠償補セシメ可然哉

指令

數十萬ノ彈藥一時ニ暴發シテ人ヲ殺傷シ
家屋船隻ヲ燒燬スルニ至ル其初火ノ源因
何ニ出ルカ審カナラスト雖モ畢竟其變
尤戒心ス可キノ物ヲ老幼皆託ス可カラサル
人人ニ託スルニ由ルヲ以テ 雜犯律 不
應為ノ重キニ擬シ

懲役七十日

坪内 長藏

同上ノ從トナシテ論シ一等ヲ減シ

同 六十日

黒川善右衛門

彈藥暴發シテ人ヲ殺傷スルハ過失ヲ以テ
論セス依テ醫藥埋葬ノ費ヲ追給シ及ヒ破
損ノ船隻家屋賠補セシムル等ノ儀ニ及ハ
ス

三浦縣伺

六年十月十七日

筑後國三浦郡原古賀町
無量寺住職原祥春弟子 平

鳳俊

外五人

右罪案之ノ通改定律例第二百六條ニ照シ
處斷可申付哉然ルニ他所ニ移シ死ニ至ル
ニ付如何可申付哉

指令

狂癲ノ婦人境内ニ来リ乱暴ヲナシ近隣為
ノニ安臥スル能ハサルヲ以テ已ムヲ得ス
之ヲ他所ニ荷ヒ行キ放チ帰ルノ後婦人自
ラ水ニ落チ溺死ス 雜犯律 不應為輕ニ
問シ懲役三十日其情ヲ量リ贖ヲ聽ス

贖罪金二圓二十五錢宛平 鳳俊

外二人

同上夥伴ノ訊糾セラル、ヲ聞キ首肯スル
者 名例律 官ノ捕獲セントスルヲ聞キ

自首スル者ヲ以テ論シ一等ヲ減シ贖ヲ聽
ス

贖罪金二圓二十五錢宛今泉 儀助

近藤房次郎

以下畧

濱田縣伺 六年十一月十三日

田畑ヲ損害スル獸類ノ巢窟ヲ滅絶セシメ
シト欲シテ人ノ山林ニ放火スル者放火條
例田場積聚ノ物ヲ燒クニ一等ヲ減シ

懲役五年 石見国延摩郡 太原 伊平
天河内村農

同上後タルヲ以テ一等ヲ減シ

同 三年 同村農弥八 山本 友吉

外六人

同上後ニシテ身同ク行ハサル者又一等ヲ減シ

同 二年半 同村農直助 清水 貞助

右罪案之相添此段相同申候也

指令

田畑ヲ損害スル獸類ノ巢窟ヲ滅絶セントシ火ヲ放ツ 隅烈風ニ會シ終ニ人ノ山林ヲ

延焼スルニ至ルト雖モ其事全ク獸害ヲ除

カントスルニ出ルヲ以テ田場積聚ノ物ヲ

焼クノ疵ニ非ス依テ 雜犯律 不應為ノ

重キニ擬シ懲役七十日情ヲ量リ贖ヲ聽ス

贖罪金五圓二十五錢 大原 伊平

燒ク所ノ物ハ賠償セシム可シ

同上後タルヲ以テ一等ヲ減シ懲役六十日

贖ヲ聽ス

贖罪金四圓五十錢宛 山本 友吉

外六人

燒ク所ノ物ハ賠償セシムヘシ
獸害ヲ除カン為メ其巢窟ヲ滅絶セントス
ルノ議ニ與ルト雖モ身同ク行ハサル者其
罪ヲ問ハス

無罪

清水 貞助

長野縣伺

六年十二月三日

甲斐國八代郡中川村農

中川耕次郎

右罪案之畧ノ通元來同連市郎次ノ病苦ヲ救
ハント所持ノモルヒネヲ與フルノ後手同
人死ニ至ルト雖モ其死ニ於ルヤモルヒネ

ノ為カ又ハ發病ノ為カ當時醫ノ診察モナ
ク今日ニ至テ確然タル明證アルニ非ス去
ナカラ右体ノ劇藥ヲ容易ニ與フル者ニ付
雜犯律不應為ノ重キニ擬シ懲役七十日事
情憫諒ス可キニ依リ贖罪金五圓二十五錢
可申付哉

指令

人ノ病苦ヲ救ハントモルヒネヲ與フル後
病愈エス却テ死ニ至ル其病因知ル可ラス
ト雖モ容易ニ劇劑ヲ與フルヲ以テ 雜犯

律 不應為重二問ヒ懲役七十日情ヲ量リ
贖ヲ聽ス

贖罪金五圓二十五錢 中川耕次郎
和歌山縣伺罪案六年十二月九日

紀伊國牟婁郡田邊榮町商小倉庄作曰同所
捕亡吏下使丸山春吉他行セシ故當十月廿
六日夜宙守見舞ニ罷越シ其妻マツト火燧
ニ暖リ雑話ノ未將ニ帰宅セシトスル節同
人裸体ニテ火燧ニ卧セシニ心動キ色欲止
マ難ク戀情申掛ケ終ニ同卧シ殆ト姦淫ニ

及フ場合春吉ノ同僚等ニ見咎メラレ候

指令

有夫ノ婦ニ戀慕ノ情ヲ通シ姦セントスル
ノ際他人ニ撞見セラレ事ヲ遂ケスト雖モ
事理為スヘカラサルヲ以テ 雜犯律 不
應為ノ重キニ礙レ

懲役七十日 小倉 庄作

小倉庄作ト同ク擬シ懲役七十日收贖ヲ聽
ス

收贖金一圓七十五錢 滿 津

埼玉裁判所 同 六年十月十五日

武蔵國埼玉郡上野村農助右衛門倅

高橋 良八

右罪案之ノ通ニテ偽幣タルヲ知テ買狹者
ノ指使ヲ受ケ接連スル者改定律例第二百
四十九條情ヲ知テ買使者ノ後ヲ以テ論シ
一等ヲ減シ懲役十年可申付哉

指令

彼此ノ間ニ周旋シテ偽札賣買ノ接連ヲ為
スニ更ニ謝金ヲ受ス雇人雜役ニ供スル者
ニ擬スレハ法ノ稍過酷ナルヲ覺ユ依テ不

應為重キニ問ヒ

懲役七十日

高橋 良八

愛知縣 同 六年十月十二日

罪囚斂テ無籍ト詐言シ處鄰ノ後授産場ニ
入レ使役申渚宇ノ際ヲ窺ヒ懲治檻ヲ脱走
シ捕ニ就キ之ヲ謝問スルニ郷里ヲ慕フノ
情動ナルヨリ起リ始其源籍ヲ隠匿スルハ
他ナシ唯犯罪ノ汚名ヲ耻テ親戚隣保ニ對
スルノ面目ナキヲ以テ詐偽スルノ如何
處分可然哉

指令

不應為ノ輕キニ問ヒ懲役三十日 祖授業
場ヲ逃走スル罪輕シ論セス

鳥取縣伺 罪案 六年十月十四日

因幡國邑美郡吉方村医堀田正澄曰私儀種痘ヲ遣ヒ盡シ求メ方ニ差支ヘ一策ヲ設ケ

吉田萬藏平内與一郎ヲ頼ミ私ニ男ヲ他人

ノ子ト偽ラセ同業景山胖ニ種痘致サセ其

苗ヲ奪取施行仕候

指令

其痘苗ヲ採テ他ノ兒ニ施種セント欲シ已
レカ兒ニ他ノ名籍ヲ詐冒シ同業ノ者ヲ欺
テ種痘セシムル者 雜犯律 不應為輕ニ
科シ懲役三十日情ヲ量テ贖ヲ聽ス

贖罪金二圓二十五錢 堀田 正澄

堀田正澄ノ役トナシ一等ヲ減シ懲役二十

日贖ヲ聽ス

同 一圓五十錢宛 吉田 萬造

平内與一郎

京都裁判所伺 六年十月廿七日

生業等ノ為ニ授産場へ入置クニ擅ニ内柵ヲ越エ同シ入場ノ婦女ト屢通姦スル者アリ其罪不應為ヲ以テ科ス可ク候へ共輕重何レニ從ヒ尤當可致哉且其婦女モ同罪収贖シ可然カ將ク通常ノ姦律廢スト雖モ私媾ノ婦女實斷ノ御指令アルニ付如此者ハ仍ホ實斷ス可キ哉

指令

不應為輕ニ問ヒ贖罪収贖ニ處ス但私媾尙賣ノ婦女ハ從前實斷ニ處スルノ所自今

改テ収贖ヲ聽ス

度會縣伺 罪案六年十二月廿七日

伊勢國度會郡山田船江町工玉木長藏等曰ク私共近頃誰云フトナキ風説ニ皇大神宮ノ大麻ヲ水ニ投シ候へハ人馬等ノ形ヲ顯シ其頭ハル、人畜ニ疫癘ヲ傳染セシメ候ナト、無根ノ異説ニ取惑ヒ一時ノ災難ヲマヌカレ度キ愚意ヨリ至尊ノ大麻ヲ流却致シ候

指令

雜犯律 不應為輕ニ問擬シ懲役三十日無
根ノ流言ヲ信用スル蠢愚ノ情狀憫諒ス可
キヲ以テ贖ヲ聽ス

贖罪金二圓二十五錢宛玉木 長藏

外十一人

敦賀縣伺 罪案七年四月
節錄廿七日

越前國今立郡岩本村医山田常平供 自今
儀同医業黒田良齋方へ罷越候處同業今村
仲造外二人居合セ右良齋近頃買入候進人
骨ヲ論シタル畫圖ヲ見セ候ニ付此上ハ現

物ト比較シ試檢致シ度ト談合ノ未幸ト近
村ニテ先頃非人ノ斃死ヲ假埋セシ由右ヲ
發掘研究スヘント私發言ニ孰レモ同意シ
誠村月行司白崎庄平方へ行キ右事情ヲ告
ケ一覽ヲ乞ヒ同人承諾セシ故死屍ヲ掘出
セシ所最早鑿瀾ニ及ヒ候へ共聊皮肉保チ
居ル個所モ有之ニ付悉ク梳キ去ント存シ
私方へ持歸リ桶ニ浸シ置ト雖モ容易ニ梳
キ取レサルヲ以テ菰包ニ致シ流水へ漬置
候へハ可然ト協議ノ上水中へ沈メ置キ候

指令

倒死ニ係リ已ニ埋葬スル屍ヲ医業研究ノ為メ骨體試檢セント欲シ發掘シテ水中ニ浸漬スル者 雜犯律 不應為ノ重キヲ以テ論シ懲役七十日贖ヲ聽ス
贖罪金五圓二十五錢 山田 常平
山田常平ノ從ヲ以テ論シ懲役六十日贖ヲ聽ス

贖罪金四圓五十錢宛

黒田 良齋

外三人

東京裁判所 同 罪案七年六月二日

東京櫻田町商高文巳之助供 亡高久岩吉 親屬一同相談ノ上私ヲ其妻サトノ入夫ト定メ生國ヨリ送籍到來次第其筋へ届出へキ含ニテサト俱々相慕ス所同人怠惰ノ性贖ニ付活計ノ目途無之ヲ以テ屢々教諭スレトモ採リ用ヒサル故今一層訓戒セント欲シ弥不勉勵ナレハ離別シテ舊里ニ立帰ル旨申聞ケ置シ其翌夜サト私ノ枕邊へ庖丁ヲ携ヒ来リ舊里へ立帰ル丁實事ナレハ

自害スト申ニ付全ク決心ノ旨答ヘシ所同
人右及物ヲ咽候へ突立テ倒レシ故打驚キ
急ニ及物ヲ採取候へハ苦痛ニ堪サル逆懇
ニ介錯ヲ乞フニ付不便トハ存スレ氏不得
包其意ニ任セ其庖丁ヲ以テ背等へ突立シ
所絶命ス就テハ後日ノ罪逃レ難クト存シ
私モ右庖丁ニテ腹部ニ箇所へ突立シ節惣
身震慄シ終ニ割腹仕損シ候

指令

妻懲識ノ為メニ離別ヲ唱ヘラルハノ意ヲ

知ラス怨悲シテ自殺セント告ルノ阻抑セ
ス其喉ヲ刺スニ及ンテ救助セント欲スレ
トモ妻却テ速死ヲ促シ苦痛ヲ脱セシテ
乞フニヨリ之ヲ殺死ス其事情原諒スヘキ
ニヨリ 不應為條 不應為輕ニ問ヒ懲役
三十日贖ヲ聽ス

贖罪金二圓二十五錢 高久巳之助

三重縣伺 七年六月七日

右ハ罪案之畧ノ通妻キンノヲ縊殺スト雖モ
伊賀國伊賀郡堀川弥五七

其情狀故殺ヲ以テ論シ難ク將ク誤殺トモ見做シ難シ因テ改定律例二百二十三條凡夫妻ヲ毆テ死ニ至ルト云フヲ以テ論シ懲役終身可申付哉

指令

誼犯ノ妻傲慢放恣曾テ夫ノ言ニ聽從セズ即時離別セシテ夫ノ迫リ且ツ暴戾自ラ死セシトシ夫ノ帶ヲ取り己ノ頸ニ巻キ強テ之ヲ牽カシム事據己ムヲ得ス其言ニ從フヨリ遂ニ縊死ニ至ルト雖モ其死ヤ妻ノ自ラ

取ル所ニシテ妻ヲ毆故殺死スル者ニ問擬スヘカラス止夕燈時己ムヲ得サルノ勢ニ出ルト雖モ輒ク其言ニ從フヲ以テ不應為條 不應為重ニ問ヒ

懲役七十日

堀川弥五七

兵庫裁判所 同 七年七月十三日

甲乙ノ賊俱ニ竊盜ヲ為サント謀リ甲ノ指誘ニ從ヒ犯所ニ至ル家内人聲アルニ驚キ行ヒ得スニテ去ル乙犯所ニ至ルノ際又ハ日後常ニ刀ヲ帶フ然レモ絶テ強盜ノ跡ナ

レ後ヲ縛シテ之ヲ審スルニ拒捕ノ為メ刀ヲ帶スト陳皓ス如此ハ情ヲ量リ不應為輕重ニ問ヒ本罪加等ノ例ニ非ザル哉

指令

不應為重ニ問フ

福岡縣伺 七年八月二十日

凡捕吏差遣ヲ承ケ罪囚逮捕スルニ囚已ニ拘執ニ就クト雖モ犯状首白セス依テ之ヲ詰問セント手足槌棒等ヲ以テ毆訊シ其傷折傷以上ニ至ラサル者如何處置可然哉

指令

情ヲ量リ不應為輕重ニ問フ

不應為條例 改定律例

第二百八十九條 凡二人以上同ク不應為ヲ犯シ首タル者懲役三十日ニ減レハ後ハ懲役二十日首タル者懲役七十日ニ減レハ後ハ懲役六十日ニ科ス若シ所犯輕重ノ分アレハ不應為輕重ニ矜擬シ首後ヲ以テ論セス
第二百九十條 凡佛像ヲ棄毀スル者ハ不應為重ニ科ス

第二百九十一條 凡詭言怪說ヲ流傳シ及ヒ著述シテ政體ヲ妨害スル者ハ不應為重ニ科ス

三重縣伺 罪案 五月

同縣士族龍崎潜供 本年一月ヨリ同郡東菟野村小學校教師ニ雇ハレ教授ノ暇新聞誌ヲ閱レ舊參議及ヒ諸人ノ論辨ヲ信シ政事實際上毫モ見聞セズ特ニ新聞中ニ就キ妄ニ即今ノ政事ヲ想像シ前段諸人ノ論意ヲ參酌シ一篇ノ文ヲ綴リ二月中旬真事誌社中へ投書ス文中間々大姦小姦或ハ政府

反省云々ト過激狂暴ノ字句ヲ用ヒシハ全ク一時ノ想像ニ出テ同志ノ者無之ハ勿論一身上ニ於テモ聊實著ノ心意ハ決メ無之今般御詰問ニ預リ一言ノ申開キ無之候

指令

一己ノ想像ヲ以テ妄ニ政府ヲ譏議シ新聞誌ニ投書スル者改定律例第二百九十一條凡詭言怪說ヲ流傳シ及ヒ著述シテ政體ヲ妨害スル者ニ擬シ不應為重ニ問ヒ士族タルヲ以テ問刑ニ換ヘ

禁獄七十日

龍崎

潜

擬律必携四編上終

